

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 19 日現在

機関番号：34504
 研究種目：基盤研究(C) (一般)
 研究期間：2013～2016
 課題番号：25380813
 研究課題名(和文)大阪「博愛社」の研究 - 125年の歴史的検証 -

研究課題名(英文)History research on Hakuaisha,Osaka,Japan

研究代表者

室田 保夫 (MUROTA, yasuo)

関西学院大学・人間福祉学部・教授

研究者番号：90131614

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：史資料整理、保存作業については、仮目録の確認、貴重資料の写真撮影とデジタルデータ化を継続して行った。また、未着手であった1956年以降の比較的新しい時期の史資料についても、クリーニングと分類作業を行った。

さらに、書簡・ハガキ類の整理、保存作業についても、仮目録の作成まで終了し、史資料の全体像が明確になった。これらの作業によって、博愛社本体だけでなく、関連する団体や施設の実情や博愛社の支援者との関係について解明していくため整備ができた。

なお、この4年間に10回の研究会を実施するとともに、論文集『大阪「博愛社」の研究』(1)～(3)を発行し、史資料を駆使した12編の論文、資料紹介を収載した。

研究成果の概要(英文)：Classification and preservation work consisted of carrying out the identification, copying important documents, and photographing. Furthermore, cleaning and classification work was also done on historical documents of relatively new period since 1956, which was not undertaken yet. Next, classification and preservation of letters and postcards also ended until the creation of a temporary inventory. Through these work, we were able to elucidation not only the Hakuaisha, but also the relationships of related organizations and facilities and relations with supporters of Hakuaisha. Finally, based on these documents, research meetings were held to investigate and clarify the charities and social work in the Osaka area, which was centered around Hakuaisha. The finding were published as "Research of Osaka's Hakuaisha", which includes 12 studies and research notes, and one foreword introducing the historical documents.

研究分野：社会福祉学

キーワード：社会福祉史 児童養護施設 博愛社 小橋勝之助 小橋実之助 小橋カツア 林歌子 社会事業史

1. 研究開始当初の背景

本研究は、社会福祉法人博愛社について、歴史的な研究を行うものである。

博愛社は、1890(明治23)年、小橋勝之助によって兵庫県赤穂郡矢野村瓜生(現相生市)に設立された。勝之助の死後に、林歌子、小橋実之助によって大阪十三の現在の所在地に移され、今日までこの地域で児童養護施設や高齢者福祉事業を展開している。

この施設には、創設以来の貴重な史資料が保存されてきたが、最近まで本格的な整理、保存作業は行われておらず、ほとんど日の目を見ることがなかった。しかしながら、これらの史資料は、博愛社という一つの施設史の範疇にとどまらず、大阪地域、あるいは日本における社会福祉の歴史の実態を明らかにしていくにあたって極めて重要な資料群である。

2007年以降、科学研究費補助金を得て、これらの史資料の整理、保存作業に取り組み、これまでに史資料の仮目録を作成し、特に貴重な史資料については写真撮影を行って、デジタル化してきた。

ただし、博愛社に残された史資料は膨大であり、さらに多くの史資料の整理、保存作業が課題となっていた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、博愛社に残された貴重な史資料を整理、保存し、博愛社と博愛社を中心とした福祉の歴史を研究していくことであった。

博愛社は明治期に創設され、現存する社会福祉施設の中でも有数の歴史を有している。そのため、博愛社の歴史を研究することは、近代日本の福祉の実態を解明するにあたって極めて重要である。

さらに、この研究を通じて、より複雑な問題に直面する現代の福祉実践に対しても、重要な示唆が得られるはずである。

本研究は、博愛社に所蔵されている史資料の整理を進めるとともに、それらの史資料を駆使して、博愛社を中心とした福祉活動の実態を解明することに取り組んだ。

3. 研究の方法

(1) 史資料整理と保存作業

継続して実施している史資料の整理、保存作業について取り組んだ。新たに発見された史料について、クリーニングと保存箱への収納、目録への追加など、永続的な保存に向けた作業を実施した。

また、未着手であった1956年以降の史資料についても、クリーニングと分類を実施した。

(2) 貴重な一次史料の撮影、デジタルデータ化
これまでも、小橋勝之助、小橋実之助、小橋カツエ、林歌子といった、創設期の博愛社に関わりの深い人物の日誌や機関誌『博愛雑誌』『博愛月報』『博愛の園』については写真撮影を行い、デジタルデータ化が終了していた。

今回は、戦前期の博愛社の施設運営や財務に関わる貴重な一次史料の内、整理作業が完了しているものについて、写真撮影を行いデジタルデータ化した。

(3) 書簡・ハガキ類の整理と保存作業

社外の関係機関や関係者、支援者等からの書簡・ハガキ類については、新たな史料が発見されたこともあって整理と保存作業の途上であった。

今回は、それらの書簡・ハガキ類についてクリーニングと整理、保存作業を行い、仮目録を作成した。これにより、保存されている書簡・ハガキ類について、その全体像が把握できた。

(4) その他資料の整理と保存作業

博愛社には、紙媒体の史資料だけでなく、ガラス版の写真ネガやアルバム、色紙、短冊、看板や大判のポスター、業務の中で使用された物品といった資料も多数保存されていた。これらの資料についても、クリーニングと保存作業を行った。

4. 研究成果

史資料整理、保存作業については、貴重資料の写真撮影とデジタルデータ化を継続して行った。

また、未着手であった1956年以降の比較的新しい時期の史資料についても、クリーニングと分類作業を行った。

さらに、途上にあった書簡・ハガキ類の整理、保存作業についても、仮目録の作成まで終了し、史資料の全体像が明確になった。これらの作業によって、博愛社本体だけでなく、関連する団体や施設の実情や博愛社の支援者との関係について解明していくため整備ができた。

そして、この4年間に10回の研究会を実施し、特に戦前期における博愛社の活動の実態解明のための研究が進んだ。

研究会の実施状況と報告テーマは以下の通りである。

- 2013年6月30日(於:博愛社)
- ・室田保夫「今後の作業と研究を進めるにあたって」
 - ・大野定利「阿波松之助について」
 - ・蜂谷俊隆「社会福祉における実践史について - 博愛社史の実践史・施設史を考えるにあ

たつて - 」

2013年12月26日(於:博愛社)
・大月英雄「博愛社を支えた人びと - 「交友手牋」の分析から - 」
・原佳央理「明治期の博愛社における児童記録の分析」
・蜂谷俊隆「戦前期博愛社における乳幼児の里親委託について」
・大野定利「阿波松之助に関する新たな資料について」

2014年1月24日(於:博愛社)
・元村智明「山本良吉と博愛社」
・今井小の実「救貧制度形成期の日本と大阪博愛社の果たした役割 - 小橋実之助と大阪社会事業連盟研究部を通して - 」

2014年6月8日(於:博愛社)
・原佳央理「設立当初の児童処遇について」
・蜂谷俊隆「博愛社における里預けについて」

2014年9月13日(於:博愛社)
・大月英雄「『伊香相救社(滋賀県)』について - 滋賀県の備荒貯蓄制度との関係を中心に - 」
・嶺山敦子「博愛社と日本キリスト教婦人矯風会との関連について」

2015年2月23日(於:博愛社)
・室田保夫「『三代の社会事業史 - 小橋カツエ刀自聞書』について」
・大森万里子「楠本六一と南加小児園について」
・今井小の実「小橋実之助日記の翻刻について」

2015年4月19日(於:博愛社)
・倉持史朗「博愛社における学校教育の史的展開(2) 私立博愛社普通学校創立期を焦点として」
・今井小の実「小橋実之助日記の翻刻について」
・高市勢津子「小橋カツエ日記の翻刻について」

2015年8月8日(於:博愛社)
・室田保夫「博愛社の研究について」
・大月英雄「『福祉の複合体』史と備荒貯蓄 - 歴史学と社会事業史の対話に向けて - 」

2015年10月17日(於:関西学院大学)
・室田保夫「今後の博愛社研究の方針等」
・元村智明「山本良吉の慈善事業と博愛」
・高岡裕之「歴史研究と福祉 私の研究のあゆみ」

2016年2月5日(於:博愛社)
・陳礼美「CCFと博愛社」
・大森万里子「1909年から1918年米国カリ

フォルニア州における移民孤児対策 - 慈善矯正委員会による人種別保護と知能調査を中心に - 」

・今井小の実「小橋日誌の翻刻について」
・蜂谷俊隆「博愛社の里預け(2) - 昭和戦前期の取り組み - 」

これらの成果の一部を論文にまとめて、論文集『大阪「博愛社」の研究』(1)~(3)を発行した。この中には、史資料を駆使した12編の論文、資料紹介等を収載した。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計10件)
今井小の実「大大阪記念博覧会と小橋実之助日誌 - 大正14年1月~3月の日誌翻刻を通して - 」『大阪「博愛社」の研究』(3)(2016)12頁,査読無し

Li-Mei Chen (陳礼美)「The United States and Hakuaisha: Focusing on the documents relevant to the Christian Children's Fund (CCF) and Hakuaisha」『大阪「博愛社」の研究』(3)(2016)12頁,査読無し

元村智明「山本良吉の慈善事業および社会事業への理解に関する予備的考察 - 博愛社への眼差しを通して - 」『大阪「博愛社」の研究』(3)(2016)16頁,査読無し

蜂谷俊隆「博愛社の「里預け」(2) - 昭和初期から第二次大戦期まで - 」『大阪「博愛社」の研究』(3)(2016)22頁,査読無し

嶺山敦子「日本キリスト教婦人矯風会と周辺人物について」『大阪「博愛社」の研究』(3)(2016)8頁,査読無し

倉持史朗「博愛社における学校教育の史的展開(2) 私立博愛社普通学校創立期を焦点として」『大阪「博愛社」の研究』(2)(2015)28頁,査読無し

原佳央理「明治期の博愛社入社児童記録の分析 - 岡山孤児院出身の貧孤児救済の時期について - 」『大阪「博愛社」の研究』(2)(2015)17頁,査読無し

大月英雄「設立期の博愛社を支えた人々 - 『交友手牋』に見る村尾よしの人物像 - 」『大阪「博愛社」の研究』(1)(2014)10頁,査読無し

原佳央理「明治期の博愛社入社児童記録の分析 - 岡山孤児院出身の貧孤児救済の時期について - 」『大阪「博愛社」の研究』(1)

(2014) 14 頁, 査読無し

蜂谷俊隆「博愛社の『里預け』(1) - 『里預け』の開始から乳児園開設初期まで - 」『大阪「博愛社」の研究』(1) (2014) 25 頁, 査読無し

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 1 件)

・片岡優子「小橋勝之助と私立愛隣夜学校の創立 - 博愛社をめぐる人々」細井勇・小笠原慶彰・今井小の実・蜂谷俊隆『福祉にとっての歴史 歴史にとっての福祉』(ミネルヴァ書房, 2017) 312 頁 (27-50 頁)

〔産業財産権〕

出願状況 (計 0 件)

取得状況 (計 0 件)

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

室田 保夫 (MUROTA, Yasuo)
関西学院大学・人間福祉学部・教授
研究者番号: 90131614

(2) 研究分担者

今井 小の実 (IMAI, Konomi)
関西学院大学・人間福祉学部・教授
研究者番号: 20331770

陳 礼美 (CHEN, LI-MEI)
関西学院大学・人間福祉学部・教授
研究者番号: 40510160

倉持 史朗 (KURAMOCHI, Fumitoki)
天理大学・人間学部・准教授
研究者番号: 70411056

元村 智明 (MOTOMURA, Tomoaki)
金城大学・社会福祉学部・准教授
研究者番号: 60340022

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

佐野 信三 (SANO, Shinzo)
社会福祉法人博愛社・顧問

長野 泰信 (NAGANO, Yasunobu)
社会福祉法人博愛社・理事長

大野 定利 (OONO, Sadatoshi)
社会福祉法人博愛社

高市 勢津子 (TAKAICHI, Setsuko)
大阪キリスト教短期大学・幼児教育学科・准教授

原 佳央理 (HARA, Kaori)
相愛大学・人間発達学部・非常勤講師

片岡 優子 (KATAOKA, Yuko)
関西学院大学・人間福祉学科・研究科研究員

鎌谷 かおる (KAMATANI, Kaoru)
人間文化研究機構総合地球環境学研究所・研究部・プロジェクト研究員

水上 妙子 (MIZUKAMI, Taeko)
佛教大学大学院博士後期課程

大月 英雄 (OOTSUKI, Hideo)
関西学院大学大学院博士課程後期課程

蜂谷 俊隆 (HACHIYA, Toshi taka)
美作大学・生活科学部・准教授